

# 上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)を受けられる患者様へ ①

## 【胃カメラの検査目的と方法】

□食道・胃・十二指腸の疾患を診断するための検査です。

まず、鼻とのどに局所麻酔をしてから、鼻腔あるいは口腔から内視鏡を挿入します。そして空気で膨らませながら食道・胃・十二指腸を観察します。必要に応じて、粘膜組織の採取を行います。

□局所麻酔などの検査前処置に 10～15 分ほどかかります。内視鏡検査自体は **3～4 分**ほどで終了します。

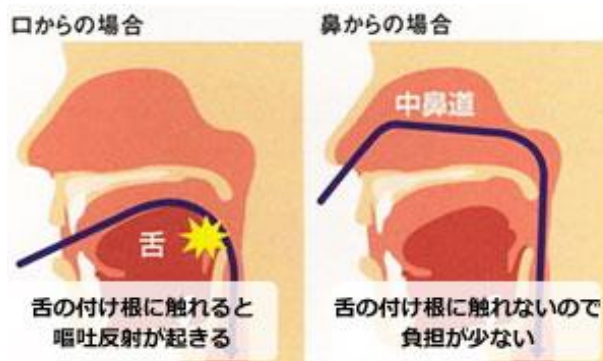
□胃カメラ検査による癌の発見率は 0.5～1%(200 人に 1～2 人)です。

□胃カメラの合併症については別紙の『同意書・説明書』でご説明させていただいています。

## 【鼻腔から挿入する胃カメラ】

□利点: 鼻腔から挿入する胃カメラは“のど”のもっとも嘔吐反射が強い(オエっとなる)場所に触れずに入っていくため、口腔から挿入する胃カメラより楽に検査が受けられます。

■欠点: 約 10 人に 1 人の割合で鼻腔が狭い方がおられます。また、アレルギー性鼻炎の方は季節により鼻腔が狭くなっている時期があります。これらの方は無理に鼻腔から胃カメラを挿入すると鼻血が出ることがあります(その場合は、口腔からの挿入に切り替えて検査を行います)。



## 検査前日( 月 日)の食事について

□胃カメラ検査は胃の中が空っぽの状態で行わなくてはならないため、原則、午前中に行います。そのため、前日の夕食は夜 21 時までには済ませてください。

□それでも夕食をたくさん食べすぎると検査当日午前中でも胃内に食べ物が残っていたり、お腹が張ってしんどくなるがあるので注意が必要です(検査前日の夕食は腹 8 分目くらい、また、脂っこい食事は胃の中に長い間残ることがありますので大量に食べないようにしてください)。

□夜 21 時以降は飲水のみ可能です(ジュース可です。[脱水を予防するために絶飲はしないようにしてください](#))。

## 検査当日( 月 日)の食事と定期薬の内服について

□当日の朝はもちろん固形物は絶食です。

□飲水は透明なものであれば検査 2 時間前まで可能です([脱水を予防するために絶飲はしないようにしましょう](#))。

□[胃カメラ検査を院内で予約される時・胃カメラ検査当日は必ず『お薬手帳』を持参下さい。](#)

□朝の内服薬は原則、すべて通常通り内服して下さい。

(☆[糖尿病がある方のみ、医師よりお薬の内服について個別の指示があります⇒](#) )

## 上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)を受けられる患者様へ ②

### 《検査前の処置》

検査 10～15 分前に、前処置を開始します。

□胃の中の泡を消す水を飲んでいただきます。

□鼻腔を広げるスプレーをします。

□鼻腔と口腔内に局所麻酔をします。局所麻酔の効果は約 1 時間です。

(☆鎮静剤を希望される方は、検査の前に点滴をします。)



### 検査を受けられる患者様にお願い：

- 「入れ歯に関して、総入れ歯は問題ありませんが、取り外しができる部分入れ歯は誤嚥する可能性があるため外しておいてください。」
- 「検査中は胃の中に送気しますので、お腹が少しふくらみます。そのときに苦しくならないように、ズボンのボタンやベルト、また、コルセットなどしめつけているものがあれば、ゆるめたり外しておいてください。」
- 「目を強く閉じたり、肩に力が入ると、のどに力が入り、えづきやすくなります(おえっ、となりやすくなります)。そのため、目は開けたままぼんやりと遠くを眺めておいてください。肩はなるべくだらりと脱力しておいてください。」

### 《検査中》

検査自体は 3-4 分で終了します。

### 検査を受けられる患者様にお願い：

- 「検査中は唾液を飲み込むとむせることがあるので、唾液はダラダラと前掛けに吐き出してください。」
- 「検査中の呼吸の仕方は、“肩の力を抜きながら鼻から息を吸い込んで⇒3 秒止めます⇒そして肩の力を再度抜きながら 3 秒以上かけて口から吐き出します”、これを繰り返します。そうすることにより、のどもとの力が抜けて楽に検査を受けることができます。」
- 「検査中は胃内をしっかりと観察するために、しっかり送気して胃をふくらませます。げっぷをして空気が外にもれると検査時間が長くなります。げっぷがでそうなときは鼻から息を吸い込んで 3 秒止めるようにして下さい。そうするとげっぷがおさまります。」



## 上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)を受けられる患者様へ ③

### 《検査後》

検査後に医師より結果説明があります。

検査後の患者様にお願い：

- 「検査後 30 分は鼻を強くかむと出血することがありますので、鼻汁は拭くだけにして下さい。念のため、検査後当日はなるべく鼻をやさしくかんで下さい。」
- 「検査後1時間程度、のどの麻酔の効果が残ります。それまでに顔を上向きにしてうがいすると誤嚥することがありますので、顔を下向きにして口をゆすいで下さい。」



鼻を強くかむと鼻血  
が出ることもあります。



のどの麻酔が残っているときに上をむいて  
うがいするとむせることがあります。

- 「検査終了 1 時間後に飲水をして、むせないことを確認してから食事可能です。」

☆胃カメラの検査中に、ピロリ菌検査・生検(粘膜の組織を採取)をされた患者様の場合☆

- 「検査後 2 時間してから飲食可能です。」
- 「検査後当日は激しい運動を避けて、刺激のある食事・飲酒・コーヒーを避けて下さい。」

【胃カメラ検査についてよく分からないこと、ご不安なことがございましたら、ご遠慮なく何でも、医師・看護師におたずね下さい。】



むらたファミリークリニック

☎075-925-6030